

デジタル・ファブリケーション工房使用ルール

2025年4月版

明治大学理工学部

理工学部・理工学研究科の学生をはじめ、本学の学生・教職員を対象に、手軽にものづくりを経験する場を創出するため、2025年度からデジタル・ファブリケーション工房（デジタル工房：第二校舎D館D206）を開設します。

デジタル工房では、3Dプリンタのほかレーザーカッター等が使用できます。この部屋を使用するにあたっての使用ルールを示します。

以下の条件を熟読し、同意した上で登録してください。なお、違反者は登録を取り消すことがあります。また、違反者が多くあられ、運営に支障が出た場合、工房の使用停止、又は運用を見直すことがあります。

詳しい情報は、Oh-o!Meijiのグループ「[理工学部デジタル・ファブリケーション工房](#)」をご覧ください。

使用方法について：

- 開室時間は、**授業開講期間の月～金曜日の13:00～17:00**です。長期休業期間での開室は不定期となり、別途Oh-o!Meiji等でお知らせします。
- **部屋の利用にあたり毎年初回利用時に利用登録が必要です。**登録情報はデジタル工房の運営に活用されることがあります。なお、連絡先等は本工房に関する連絡以外には使用しません。
- 各機器を使用するたびに、使用登録の提出が必要です。使用登録の形式は機器ごとに異なりますので、機器の横にある張り紙のQRコード、もしくはOh-o!Meijiグループ内のリンクからご登録ください。
- 使用者は、教職員またはデジタル工房のTAから使用登録証および学生証の提示を求められた際、これに応じる義務があります。
- 使用前に、必ず各機器の使用方法に関する資料を閲覧・視聴してください。

機器についての準備・心構えについて：

- 各機器の使い方については自分で学んで使用することを原則とします。
- 機器利用に必要なデータを準備する作業までは、自分で行ってください。
- 機器を直接操作するソフトウェアの使用法に不明点がある場合は、TAに相談してください。
- 制作物に関するデータは、原則として本人が用意し、自作したモデルを使用してください。
- 機器利用の際に不具合が発生した場合は、放置せず、必ずTAに報告してください。

- 各機器は教育・研究および学校運営上の目的で使用し、商用目的や著作権等に問題のあるものは作製しないでください。
- 作業遅延による開室時間の延長等は認めませんので、十分余裕をもって作業をしてください。
- 工房は理工学部・理工学研究科の授業科目でも利用する場合があるため、授業科目での利用が優先される場合があります。
- デジタル工房では、他者の迷惑にならないよう行動し、デジタル工房の使用を目的としない滞在はできません。
- 各機器の使用後は必ず使用機器およびその周辺を清掃してください。
- 授業の一環として使用する場合、使用者が集中することが予想されます。その際は、授業担当教員の指示に従い、適切な使用を心がけてください。

各機器に関して

1) 3Dプリンタについて

- 3Dプリンタの利用には、印刷部に関するSTLファイルが必要となります。これをUSBファイル等に保存して部屋に持ってきてください。
- 3Dプリンタの材料は無料で提供します。色等を変えたいときには、TAに相談してください。
- 必要以上に大きな（数百グラムを超える）ものの製作は控えてください。特定の個人が頻繁に重量物を作成し、プリンタを占有する状況が続いた場合、使用を制限することがあります。また、100gを超えるものを印刷する場合は、必ずTAや教員に相談してください。
- 印刷物の予測時間が表示されるため、終了時刻を確認し、印刷終了後は速やかに回収してください。回収は開室時間内に限られます。
- 印刷物を回収しない場合、他の使用者が取り外すことがあります。その際の破損等については責任を負いません。
- 印刷に不具合が発生した場合、印刷を停止することがあります。この場合、再印刷の対応は行いません。
- 一人が同時に使用できる3Dプリンタは、原則1台のみとします。

2) レーザー加工機について

- レーザー加工機の使用には、以下の形式の画像ファイル（SVG、JPG、JPEG、GIF、PNG、BMP、DXF、および WEBP）が必要となります。SVG形式のファイルが便利です。（Illustratorなどで簡単に作成することができます。）
- 加工内容（彫刻・切断・スコア）ごとにレイヤを変えてきてください。
- 素材を把握した材料をご用意ください。ものによっては、加工ができないものもあります。加工可能か不明な場合は材料の名称を把握したうえで、TAや教員に相談してください。

3) 真空成型機について

- 真空成型を行う場合には、樹脂の板材（Myyardの純正品を推奨します）と型が必要となります。これらをご自分でご用意ください。
- ものによっては、加工ができないものもあります。加工可能か不明な場合は材料の名称を把握したうえで、TAや教員に相談してください。

その他：

- 一部の材料を除き、工房の使用は原則として無料です。そのため急な機器の故障等があった場合に十分な対応ができない場合があります。
- TAが体調不良等で不在の場合、サポートを受けられないことがあります。
(受付の職員は原則として技術的なサポート対応はできません)
- 本サービスは明治大学の全教職員を対象とします。ただし、理工学部・理工学研究科以外の授業の一環として集団使用を計画する場合は、必ず理工学部事務室に相談してください。